



お知らせ
 新型コロナウイルスの影響で、予定していた作品展、文化講演会は中止になりました。定期総会は4月15日に実施の予定です。

- 会員数 -	
(2020年10月24日現在)	
一般会員	916名
協力会員	374名
合計	1290名

船橋市いきいき同窓会 かいほう

第 100 号
 発行：船橋市いきいき同窓会
 連絡先：会報部 長澤 純子
 kaihoubu@gmail.com

新年を迎えて 今年こそ躍動の年に

皆さん明けましておめでとうございます。
 昨年は正月明け早々から新型コロナウイルスの災禍に見舞われ、厳しく暗い一年間でした。いきいき同窓会も総会をはじめ、各会議や主要行事の開催が出来ず、会員の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。今年こそワクチンや治療薬の開発が進み、安心して生活が出来ました。今年こそワクナの影響を多分に受けて、会員数が昨年度比大幅な減少となりました。来年度は17期生が卒業（入会しない）もありまして、会員数は1000名前後になる見通しです。
 このため、昨年8月の理事会において2022年度対策本部立上げの承認を頂き、今後の同窓会活動のあり方について、検討を重ねて行く事といたしました。会員の皆様に



100号記念号

新年にあたって 「市民力」と共に



「かいほう」100号の発行おめでとうございます。これまで編集に携わってこられた皆様の熱意とご尽力に対し、心より敬意を表します。
 丸笠会長をはじめ、いきいき同窓会の皆様には日頃から船橋のまちづくりにご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。昨年、新型コロナウイルス

イルス感染症の影響により社会が一変した年となりましたが、皆様方におかれましては恒例の体育祭や芸能大会を中止にするなど感染拡大防止にご協力を賜り、重ねて感謝申し上げます。
 市では、市医師会等の協力を得て、国や県の対策に加え、軽症・無症状者のためのホテル借り上げや、PCR検査体制の確立など、市民の皆様や事業者の皆様を支えるための独自の支援策に取り組んでまいりました。

はご意見ご希望等多数寄せさせていただきます。宜しくお願ひ申し上げます。さて、今回皆様にお届けします会報は、記念すべき第100号であります。創立30周年記念誌によれば、昭和61年10月に発行された第1号は、手書きの原稿をコピーしたもの、第2号はワープロで打ってコピーしたものと記してあります。この立派な100号とは隔世の感があります。先輩の方達のご努力、毎回ご尽力頂いている会報部員各位、並びに原稿を寄せて頂く会員のご協力に、深く感謝申し上げます。一昨年、船橋市の市民力発見サイトを活用した

ホームページの開設によって、会報とホームページの2本立て体制となりました。
 将来はペーパーレス時代が必ず来るものと確信しています。普段からホームページを閲覧する習慣を身につけて下さい。
 今年こそ年間行事全てが開催される事を願ひ、併せて皆様方並びにご家族様のご多幸をお祈りし新年のご挨拶といたします。

昨年3月、船橋市の人口は64万人を超え、活力のある都市を維持することができています。
 これは、それぞれの地域や、貴会をはじめ様々な分野で多くの皆様方のおかげで絶えることなくまちづくりにご尽力いただいた賜物であり、改めて感謝申し上げます。こうした素晴らしい「市民力」は、船橋市が全国に誇れるものであると考えています。皆様が生きて活動されている姿は、若い世代の目には、年を重ねても船橋が楽しく過ごすごとができるまちなちとして映っており、子供たちの心の育みにも良い影響を与えてきています。

**米寿をお祝い
申しあげます**
 ますますのご活躍を期待しています

井上 誠 様 16歳	大倉 茂 様 2歳	喜市 武 様 4歳	小澤 力 様 4歳
鈴木 允 子 様 12歳	菅野 野 武 様 4歳	小澤 力 様 4歳	
久保 勝 俊 様 5歳			

Withコロナの時代にあっても、長い年月をかけて育まれてきた市民生活の流れが途切れることのないよう、一緒に頑張りたいです。
 本年も新型コロナウイルス感染症への対応を強化しながら将来に向けたまちづくりに取り組んでまいりますので、一層のご協力を心よりお願い申し上げます。

理事会だより

- 第4回(10/10・土)
- 2020年度決算見込み
- 2021年度予算
- 2022年度対策本部の立ち上げ
- 作品展開催
- 第5回(12/7・月)
- 次年度三大行事、各競技大会は実行を前提
- 福祉バスは一部有料化の見込みで移行準備中
- 文化講演会開催

2022年度対策本部とは

先の総会で発足した「2022年度対策本部」は会員数が減少する中で今後の同窓会活動の方向性を検討しています。今年12月ころまでに検討結果をまとめ、同窓会活動の新たな指針とする予定です。皆様の忌憚なきご意見を会報部(kaihoubu@gmail.com)までお寄せください。

三大行事すべて中止に

3月に予定されていた作品展・文化講演会も中止になり、今年度の主要行事はすべて開催不能となりました。Withコロナも念頭にこれからの活動の在り方を考えたいものです。

定期総会開催のお知らせ
 船橋市いきいき同窓会 会長 丸笠 三千男
 下記の要領で2021年度定期総会を開催いたします。会員の皆様の参加をお待ちしています。

記
 ◇日時 2021年4月15日(木) 午後1:30より
 ◇場所 宮本公民館講堂(2階)
 ◇主要審議事項
 (1) 2020年度事業報告
 (2) 2020年度収支決算報告
 (3) 2021年度事業計画(案)
 (4) 2021年度収支予算
 (5) その他

草萌短歌同好会

7月より、マスクを友に海神公民館で順調に続く例月歌会。市民大学同窓会の仲間と会える唯一の機会とあって、自粛中ながら皆様がどんな日常を過ごされているか興味津々でした。会は皆様の近況と、地域の様子を知る良い機会ともなりました。
 パソコン科よりの十年籠らずに学び遊び来同好の士と
 早朝のめざめぬ耳を吹き過ぎる夫の爪弾きギターの音色 佐藤 裕子
 一日花はかなさよりもさりげなく引きぎわの良き木槿の花々 栗原すずな
 阿弥陀仏静まり座せる九体寺に小鹿ひとと声照る秋あわれ 上田千津子
 早朝の散歩路なる「なつみの郷」で会釈するありガラス戸越しに 丸山 久子
 草萌えし藜移ろひもみぢせりひとの常の日戻らぬまに 宮本美紀子
 ひとり居の夕餉に添える茶碗蒸しひすい色した銀杏いれて 渡邊 一枝
 人知れずひと参り来し黄の菊に木洩れ日当たる里山の墓地 橋本 鉄哉
 送り盆提灯の火をそと消しほの白き小道を母と戻れり 積田 和子
 火照る陽に長い茶髪の若者がリフトに乗って電線工事 竹貫佐和子
 コロナゆき暑さも止んで夕涼み柿の樹のうえ若荷いろの雲 吉田 清
 好みなる青海波のセーターを十年経ちて忘れじと編む 水井紀代子
 覚えたての早口言葉にえびす顔オンライン交わす敬老の日 内山 幸子
 朝早く庭木にハトが停まりおる程なく兄が逝ったと知らせ 上田 勝利
 七名の殺され人の名マスクBlack Lives Matterとオミ復活 村田 敏行
 夕まぐれスケボー飛ばす子供らはマスクをはめて口笛を吹く 村田 邦子
 夫逝きて鉛のごとく心底にありたる重き九年を経て 馬淵 礼子

2021年度会費納入のお願い
 下記の要領で会費を集金します。理事及び評議員の方は、クラス分を集計して持参ください。

記
 一般会員 1000円(年間)
 協力会員 500円(年間)
 第1回 4月の理事会
 第2回 4月15日の総会時

・個人会員の方は郵便局の定額小為替で下記の会計部長までお送りください。
 〒275-0822
 船橋市飯山満町3-1761-172
 会計部 高橋 邦夫

いままでの歩みを振り返る

いきいき同窓会の前身である船橋市老人大学同窓会が創設されたのが1984(昭和59)年。会員81人でのスタートでした。

そして会報創刊号が発行されたのが、1986(昭和61)年10月11日。手書きのA4サイズの手紙をコピーしたものです。同窓会発足の意気込みや会報発行、講演会の実施決定、市との話し合いなど発足当時の先輩方の熱意が紙面から伝わってきます。

当時はNTTやJRの民営化、男女雇用機会均等法の施行など時代が移り始めたときでした。

第2号は1988(昭和63)年1月20日に発行。「同窓会のみなさんご機嫌いかがですか」という挨拶で始まるどこか温かみを感じさせるワープロ打ちの紙面です。ゲートボール大会の結果や運動会、バザーが行われる「老大祭」の告知記事が掲載されています。一線を退いたとはいえ体力も気力も満ち溢れていた会員の皆さんの様子が見えそうです。

船橋市が市制施行50周年を迎えたときです。世界的には地球上の人口が50億人を超えた翌年で、人口爆発による食糧危機



など地球規模での環境問題が危惧され始めたときでした。

広がる活動の輪

その年の11月には今と同じタプロイド版の印刷した会報が発行されました。そして時代は平成となり、会報は年3回発行されるようになりました。国内的には消費税3%が導入されました。

更なる発展へ

天安門事件、ベルリンの壁崩壊、そしてバブル経済の破綻と激動の年でしたが、同窓会は船橋市からの助成金を受けることが決まり活動の幅が広がっていききました。

会報には各クラスの多彩な活動の様子が紹介されるようになりました。第1回作品展の開催、グラウンドゴルフなどのニュースポーツ導入など趣味やスポーツで充実した時間を過ごす会員の様子が会報を通してうかがえます。知的好奇心も旺盛で、「激動する世界」と題した講演会には250人の参加者がありました。

1993(平成5)年同窓会は創立10周年を迎え、俳句同好会や囲碁同好会(絵画)、写楽会(写真、陶芸同好会、八葉会(園芸)、歩こう会、ペタ

いきいき同窓会発足

1995(平成7)年1月17日、阪神淡路大震災が発生しました。そして3月20日には地下鉄サリン事件が起きました。会員の皆さんの中にも大震災の被害にあわれた方、通勤時にサリン事件に遭遇した方がいらつしやる方もおられます。日本中が疲弊し、何が起るか分からない恐怖におびえりました。

翌年、東葉高速鉄道が開通し都心との距離が縮まりました。携帯電話が前年比の約5倍という爆発的な伸びを見せたのもこのころでした。

長野新幹線の開業、アライオン開通など、世の中は震災の復興と共に更なる発展へと進んでいきました。1998(平成10)年には同窓会創立15周年を迎え、会報も記念号として33号を発行しています。

寄稿 100号雑感

生涯学習の楽しみ

「かいほう」100号、おめでと〜ございませう。私は20数年来の愛読者。毎号、知人の名前を探しながら楽しんでます。思えばこの間、同窓会会員として本当に有意義な時を過ごさせていただけました。

旅行大好きな私は、以前から夫や友人と奈良・京都、海外ではヨーロッパ・中近東・中国などの遺跡巡りをしてきました。敦煌の旅で感動した。後に「仏像の見方の会」を知り、仏像拝観の旅行ができそうと早速入会。以後20数年、いまだに籍を置いている次第です。仏像は、種類・造り方・

想像をめぐりました。ありがたいことにいつもご苦労様です。ねと労いの声をかけてくださる方もいらつしやいました。もちろんお褒めの言葉だけではありません。ご指摘いただくこともあり、お詫びすることもありました。が、会報に関心をもち、受けたら、出来るだけ間違ったのないよう編集に携わってまいりました。

この会は老大7期の岸和夫氏が創設され、以後は講師なしで互いに学びあい、折々に奈良・京都や近隣の寺社を拝観したりしています。

もうすぐ震災10周年。ちょうどその日は会の有志12人で東大寺の「お水取り」を見た帰りでした。京都駅で新幹線不通のアクシデントに遭遇し、当時の石橋会長の機転で奈良に逆戻りしてもう一泊次の日に全員無事に帰着。一番の思い出です。

「かいほう」100号発行人おめでと〜ございませう。歴代の会報部員の方々の継続したご努力の積み重ねの結果だと思えます。同窓会とクラス会そして会報を繋ぐのは、会報以外はありません。会報の持つ力は大きいと感じております。同好会や俳句、春秋の競技大会等の記事の中に、自分たちの仲間や知人の活躍が載っているのを見るだけでもうれしく思えるものです。私たちのクラス会は、平成15年に、老大20期教養Bクラスを41名が卒業しましたが、17年を経過して現在は17名になっています。卒業時にクラスの名称とテーマソングを決定しました。そして



震災の時の12人 新薬師寺で

会報とクラス会

ソングは、新年会やカラオケのある場所などで同好の桜の替え歌として合唱しています。

①貴方は私は同期の桜 同じ老大の庭に咲く 夢と幸せ求めて集う RKBの20の仲間

②貴方は私は同期の桜 同じ老大の庭に咲く 元気はつらつ カラオケゴルフ

③貴方は私は同期の桜 同じ老大の庭に咲く 緑青空 山谷越えて みんな楽しく歩きましょう

④貴方は私は同期の桜 同じ老大の庭に咲く 名所旧跡 訪ねて歩く みんな楽しく歩きましょう

⑤貴方は私は同期の桜 同じ老大の庭に咲く 夢と幸せ求めて集う RKBの20の仲間

以上がクラスの名称とテーマソングです。人生100年時代を迎えています。いつまでも健康で、クラス会活動がテーマソングのように仲間と続けられるよう頑張りたいと思います。

今年、いきいき同窓会報が100号を迎えました。機会があり、初刊号と2号の会報を拝見しました。1号は昭和61年10月発行の船橋市老人大学同窓会(OB会)会報とタイトルをついた手書きの会報です。2号は印字されたものですが、面会報ともA4サイズの2ページ立てのもので、情報をお知らせする事を重視していることが伝わります。紙面でも、日頃会報部員が心がけているもの、いきいきと活動している皆さんの様子を多くの方にわかりやすく伝えることとです。会報が会員の大切なコミュニケーションツールであることは今も変わりありません。

同窓会と会報作りについて

市大6期一般教養Aを卒業して以来総務部・会報部に所属して活動してまいりました。中でも会報作りでは編集・発行・配布と様々な経験をさせていただきました。

いきいき同窓会の各期の委員は皆さんボランティアで様々な仕事をしています。中でも会報部は原稿集めから割り付け、校正等の編集作業、印刷業者との打ち合わせ、発行に伴う作業、そして配布と多岐にわたる、負担もかなり大きいものです。しかし、その中で培う人間関係や出来上がった時の充足感は何にも代えられないものがあります。

時々は、封筒に宛名シールを貼るながら、この宛先の方はどの様な活動をしているのかなど、

高年齢者だからといって閉鎖的に生きて行くのは楽しくありません。出来るだけ多くの方との出会いを持ち、人と人との触れ合いで心を解放したい

今年、いきいき同窓会報が100号を迎えました。機会があり、初刊号と2号の会報を拝見しました。1号は昭和61年10月発行の船橋市老人大学同窓会(OB会)会報とタイトルをついた手書きの会報です。2号は印字されたものですが、面会報ともA4サイズ

2ページ立てのもので、情報をお知らせする事を重視していることが伝わります。紙面でも、日頃会報部員が心がけているもの、いきいきと活動している皆さんの様子を多くの方にわかりやすく伝えることとです。会報が会員の大切なコミュニケーションツールであることは今も変わりありません。

継続は力といいますが、何事も維持することには困難がつきものです。強

市6教A 三代川千恵子



会報100号 34年間を



この年、同窓会も25周年を迎え、シンボルマークや同窓会旗もできました。体育祭の参加者も600、700、800と年々増えていきました。会報は順調に発行され2011(平成23)年には70号を発行しました。ところがその年の3月11

日に東日本大震災が発生。マグニチュード9.0の地震と大津波、さらに福島原発事故という大惨事となりました。多くの方が犠牲になり、いまだに苦しんでいる方もいます。汚染された土壌の処理ははじめられず、解決がまだ残っています。大自然の脅威と原発の危うさ怖さが身に沁みました。高齢者を中心に避難後に命を落とす震災関連死の多さも気になるところです。

次への課題

投稿欄を設けるなど、会報が会員の意見を吸い上げる場となるようにしたいです。

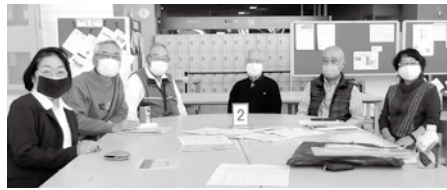


長澤 コロナ禍という事態に遭遇して、会員相互のコミュニケーションツールとしての役割を果たしてきた会報の重要性が増しているように思います。100号という区切りを契機にこれからの会報の役割などを模索し新たなビリオドについて考えてみたいと思います。

丸笠 会員への情報伝達手段として会報の役割は大事になっています。ホームページも立ち上げましたが、アクセス数も把握できておらず機能としてはまだ不十分です。会報への依存度は高いと思います。同窓会の仕組みや活動の流れを抜本的に変える必要があるかと思

藤原 多くの人が読んでもらえるよう、会報を置いておく場所を固定し周知することも必要ですね。**長澤** ホームページから読めるようにするなど、どこからでもアクセスできるデジタル化も視野に入りたいですね。**丸笠** 将来的には会報もデジタル化になるかと思

村井 会報でもお伝えしているように、同好会



左から村井悦子・丸笠会長・田村新二・矢島捷幸・藤原秀一・長澤純子

2013(平成25)年には同窓会が設立30周年を迎え、盛大な式典も開催されました。この年スキーヤーの三浦雄一郎さんが80歳と7カ月でエヴェレスト登頂に成功しています。元気な高齢者が増え続け、今や100歳以上の人口が8万人を超えています。ところが2015(平成27)年度には2100人余りの会員が、この数年漸減しているのです。令和と元号が変わった昨年度には、会員数が1700人台に落ち込みました。さらに今年度は

コロナ禍の影響を受け、10月の段階で1290人と激減しました。市民大

活動は充実しています。同窓会の組織を、同好会を軸にしたという意見をいただきました。**長澤** 今回のコロナ禍を受けて、メールでの原稿の受信を進め効率化を図り、PDFで印刷業者とのやり取りも試みました。紙面もコロナ禍の中で工夫をしながら活動している様子を紹介し、新たな可能性を提言しました。マイナスからの発想の転換で、ある意味ではチャンスになったと思います。**田村** 外部とタイアップして新しいイベントを行うなど同窓会の新しい魅力を創出し、それを伝えていくことも必要だと思います。会報を持っていくとサービスがあるというふうな仕組み作りもあつてもいいのでは。

私と同窓会活動 生命30年説 一私事三題

(一) 私は、第10代会長として平成24・25年度を担当した。偶々25年度が同窓会創立30周年に当たり今にして思えば潤沢な積立金で、記念式典(アトラクションに市立船橋高校吹奏楽部招聘)、記念誌「30周年の歩み」発行、菊花展と記念講演(講師元NHK加賀美幸子氏)を開催した。

かに優秀な製品・取扱商品・技術力でも30年経てば陳腐化する「いかに立派な経営者でも年をとり体力が衰える」から、「新製品を開発しているか」「後継者を育成しているか」の観点から取引先と対応していた。

(三) 老人在学中の平成15年11月海神公民館で「海神歴史サークル」の設立に関与した。「海神地区の歴史・地誌の学習」を目的として、今ではこのほかに「法華経」「古事記」「日本書紀」「続日本紀」の現代語訳本をテキストにして購読している。

光陰矢の如し

「かいほう」100号の発行おめでとうございま

ます。ここ数年は会員の激減が続く役員一同大変な思いですが、特に本年度は社会環境の変化に加え新型コロナウイルス拡大により全ての事業計画が中止となり誠に残念です。

同窓会活動と共に

会報発行100号おめでとうございませ

総務部の仕事は庶務全般で他部に属さない仕事は全て総務部に廻って来ましたので、結構忙しかった事を覚えています。

副会長時には「観覧席」に副会長が交代で原稿を書く事でした。ネタ探しに苦労した事が思い出されます。

同窓会役員を引退して5年になりますが、現在も公民館で陶芸クラブ、ミニ盆栽クラブで市大終了生の皆さんと年次を超えて

今後は課題として2人とも3年以上の理事継続が出来よう特認制度を大いに活用して有望な人を残して頂きたいと思

ベタンクへのお誘い

ベタンクはそれほど体力を使わないスポーツです。80歳以上の高齢の方も大勢楽しんでます。上級者から初心者まで楽しめる競技です。

2020年度はコロナ禍のため春秋の大会は中止となりましたが、練習は感染予防対策を行いながら毎週火曜日、午前9時~12時に「夏見台まちかどスポーツ広場」と「薬円台広場」で実施しています。月に1回月例大会も行っています。

ご見学ご参加を心からお待ちいたしております。年会費等は無料です。

芳賀 須美代 (市9健1)
中島 敏子 (市13健2)

来年度芸能大会について

福祉厚生部

いまだ収束の兆しの見えない新型コロナウイルス感染症の状況が気になる中ですが、来年度の芸能大会は、宮本公民館での開催をめざし準備を進めています。今年度出演を楽しみにされていたみなさんをはじめ、多くの方々の参加ができるよう願っています。



寄稿

コロナ禍での生活

この年になってこのよ... 浅草の屋形船やダイ...

電子書籍の読書

新聞に東野圭吾の小説... マホすべてに取り込んだ...

オンライン講演会

楽しみにしていた講演... 会も中止となった。学校...

市民大学を振り返って

市民大学に入校できた... ことは私の人生の後半を...

卒業20年雑感

振り返れば、暑氣払い... ボーリング大会・忘年会...

卒業20年雑感

「おもいで」を取り出し... わたしは何を書いたのか...

いきいき往来

したことで等々ことごとく... 計画が中止となりました。

振り返れば

市大12期ワンツ一会... 市民大学健康学科を平...

編集後記

3密を避けた厳しい状... 況の中で編集作業をし...

Table with columns: 実施日, コース・経由地, 集落地(最寄駅), 距離. Lists walking routes for 2021 and 2022.

俳句同好会 section with columns for authors and their haikus. Includes names like 高橋 トシ, 萩原 治子, etc.

計報 ご冥福をお祈り申し上げます. 清水 辰彌様 市4陶2 10月21日 80歳

